

第4回山武市都市計画マスタープラン策定委員会 における意見と対応について

意 見	対 応
国道126号の機能がわかる広域的な図面などを示すと良い。	P.16に広域道路網図を追加した。
都市づくりの5つの課題にも高齢化への対応や子育て環境の充実の視点を入れると、集約型のまちを目指すメリットも説明できる。	都市づくりの課題の3つ目において、「少子高齢化...への対応」と「子育て環境等の充実」を追加した。(p.27) そのほか、P.29、31、33、34、38、40の関連する方針の中に追加した。
将来の都市像から、将来都市構造への繋がりがわかりにくい。ストーリーを整理する必要がある。	都市の将来像(p.29)から将来都市構造(p.31)において、その繋がりを再整理した。
都市計画区域の統合とあるが、何のために一つの都市計画区域にするのか目的を明確にした方がいい。	都市計画区域の統合については、本市の将来都市構造である「拠点ネットワーク型の集約型都市構造」の実現を目指し、4つの都市計画区域を統合するとした。(p.38)
地域交流拠点の配置の根拠を整理する必要があると思う。	地域交流拠点に関する基本方針の(1)地域交流拠点の配置方針について再整理した。(p.40)
蓮沼地域交流拠点にイメージ図を入れ地域ごとの均衡をとると良い。	蓮沼地域交流拠点の整備方針に近隣サービス地のイメージ図を追加した。(p.48)
道路交通体系に関する基本方針の道路ネットワークの基本的な考え方を整理すると良い。	道路交通体系に関する基本方針において、全体の構成を再整理し、都市構造の実現に向けた道路・交通ネットワークとして、基本的な考え方を追加した。(p.50)
公園・緑地に関する基本方針は、内容とタイトルが整合しなくなってしまうように思うので整理してほしい。	公園・緑地に関する基本方針において、全体の構成を再整理し、潤いとやすらぎの空間形成として、基本的な考え方を整理した。(p.54)
景観に関する基本方針について、景観計画の策定についての表現は、もっと前向きな表現とならないか。	景観に関する基本方針の 地域の魅力を高める景観づくりの推進とその取り組みにおいて、前回「...検討します」から今回「...策定を進めます。」とした。(p.57)
誤植・体裁等について 目次と本文のタイトルの整合 地域別構想の掲載順番の統一 空白の多くなってしまうページの体裁 現況データを最新の情報にする。	について、それぞれ計画書を全体について見直し修正した。また、その他表現等について、わかりやすくするため修正した。 (以上の主旨を変更しない修正箇所については赤字表記を省略させて頂きました。)

意見	対応
<p>海浜地域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓮沼海浜公園は通年型の営業が必要です。 ・ 松林が荒廃しているので行政・市民協働による美化運動などにより、地域景観が創出され、観光誘客が図れる。 ・ 他の地域とのバランスを考慮し、具体的に市民協働の内容を反映してほしい。 ・ 九十九里浜のウミガメなど動植物を保全するため自動車等の進入対策が必要です。 ・ 幅広い意見・アンケートが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P.89に通年型の観光を育成するとしています。 ・ P.90に各種機能の充実により、地域住民の利便性の向上と観光客の増加を図ることと併せて、地域資源等の実情を踏まえ、地域住民との協働により地域活性化に向けた取り組みの推進を位置づけています。 ・ 現在、九十九里浜については千葉県自然公園条例により車両乗り入れ規制をしています。 ・ 自治会等を通して市内各戸にリーフレットを配布し、昨年12/24から本年1/22の期間で、幅広い意見の募集を行いました。